

京都党の政策提言①議員定数削減を実施せよ

政治家よ！自らの保身に走るな！自らが身を削り、覚悟を示せ！

政治が有権者の希望、要望を聞き続けることは簡単です。便利になることに反対はありません。

しかし、逆に拡大した行政を縮小することは容易ではありません。もちろん反対の大合唱。

行政改革が総論賛成各論反対と言われるゆえんです。交通局の赤字は減らさねばならないが、

家の前のバス路線がなくなることは反対。リストラも反対。経費削減も反対。

市民なのか、職員なのか、業者なのかは別にして基本的に誰かが割りを食うことは必定です。

だから、行政改革は進まず、誰も本気ではやりたがりません。

がしかし、やらねば間違いなく夕張のような財政再建団体に転落します。

サービスという積荷を増やしすぎた京都丸は、積荷を次々に海に捨てねば重さで沈没します。

その積荷を船員たちがこれは必要、これも必要と言って譲らない。そのやりとりの間ですら、

船は着々と沈没の道を歩んでいるのです。

行革は容易なことではありません。その困難極める行革に誰がどのように望むのか？！

我々は思う。積荷を捨てる指示を出すなら、ならまず船長の積荷から捨てるべきはないのかと。

行革を市民に、行政に押し付けるなら、まず政治家自らが行革を行うべきなのではないかと。

市民や職員に負担を押し付け、自分は特権意識を振りかざし、泥を被らない権力者による政治を

人は悪政と呼ぶのではないだろうか。

ゆえに問う。政治家は自らその最前線に立つべきではないのだろうかと。

政治家自らが汗をかき、身を削る思いをすることでしか真の行政改革はなされないのでないでしょうか。我々はその象徴たるひとつが、議員定数削減だと考えています。

参考資料

自治体	議員数	() 内は人口
京都市	69人	(146万人)
京都府	62人	(264万人)
山口県	49人	(145万人)
愛媛県	50人	(143万人)
長崎県	46人	(143万人)
滋賀県	50人	(140万人)
札幌市	68人	(188万人)
神戸市	69人	(152万人)
福岡市	62人	(140万人)
川崎市	63人	(132万人)

参考) 各区の議員定数

北区	6人	上京区5人
左京区	9人	中京区5人
東山区	2人	山科区6人
下京区	4人	南区 5人
右京区	9人	西京区6人
伏見区	12人	

我々は口だけでなく、行動することで覚悟を示します。

地域政党京都党は、一部を除き新人の集まりです。他党に比べ当然選挙は厳しいし、定数削減は一番打撃が大きいことも事実です。

しかし、我々はそれでもなお、やるべきことはやらねばならない。言うべきことは言わねばならない。

それによって苦境に立ったとしても、その覚悟なくして道は開けないと確信しています。

我々は、無謀と言われようとも、勇気ある決断が出来る政策集団でありたいと思うのです。

議員の数が多いという声は依然として多い。我々はその声に真摯に耳を傾けたいと思います。

学説を紐解いても何人が適正だという基準ありません。それは、逆に言えば、議員の数は何人でもいいということです。

だとすれば、市民の感覚こそが、ある種の適正とすべきではないでしょうか。

そこで、我々は市民アンケートを実施することにしました。何卒ご協力の程を宜しくお願ひします。

地域政党京都党ホームページにてアンケート実施中

地域政党京都党メンバー紹介

最高顧問 堀場雅夫 株式会社堀場製作所最高顧問

顧問 渡邊隆夫 京都府中小企業団体中央会会長
高木壽一 元京都市副市長

政策顧問 溝部英章 京都産業大学法学部教授
風間規男 同志社大学政策学部教授
村田晃嗣 同志社大学法学部教授
小川顕彰 弁護士
茂山逸平 大藏流狂言
及川敦 地域政党いわて幹事長・岩手県会議員

中京区支部長 佐々木たかし



梅屋小、大谷中高、立命館アジア太平洋大を経て英国ブラッドフォード大大学院修士号。
●自治体インターンや神戸市議井坂信彦スタッフ。関西サミット誘致キャッチコピーコンテストにて京都市長賞受賞。
●最年少で京都市会議員選挙に出馬。4706票頂くも66票差(次点)にて惜敗。
●京都トヨペット㈱入社。同社退社。今度こそ、皆様の期待に応えるべく挑戦中。

右京区支部長 江村 りさ



1985年10月25日生まれ
●嵯峨野保育園、嵐山小学校、嵯峨中学校、北嵯峨高校を経て同志社大学政策学部に進学。京都市議・村山祥栄氏のもとへ飛び込む。
●市会議員 村山祥栄 秘書
野村総研主宰NRI学生小論文コンテスト入賞。
●(株)ミスミ(東証一部上場)に入社。
商品開発を担当、6点の商品を開発。
●一念発起し、同社退社。右京より挑戦中！

代表・左京区支部長

村山 しょうえい



松沢成文(現神奈川県知事)秘書、株リクルート勤務を経て、25歳史上最年少で市会議員初当選。京都市会議員2期(京都市唯一の無所属議員)京都市役所不祥事問題や同和問題など無所属ならではのタブーなき改革を展開。
●京都市長選挙立候補、84750票にて惜敗
現在、京都産業大学講師。
主な著書:京都・同和「裏」行政(講談社)

南区支部長 中島 たくや



1983年12月13日生まれ
南区唐橋西寺町に祖母と二人暮らし。
●同志社大学政策学部卒業
自治体活性化の研究に取り組む。
●シンプレクス・テクノロジー(東証一部)に入社。
大手銀行、大手証券のシステム開発を数多く担当。
●同社退社。京都党の構想に賛同し、結党に参画。現在、南区から京都市政に挑戦中。

伏見区支部長 松永 たくや



1984年6月5日生まれ
●平安高校(現 龍谷大学付属平安高校)卒業
●龍谷大学法学部政治学科卒業。自治体政策を専攻。数々の政策コンテストで受賞。
●学習塾「高志塾」を起業。在学中に、教育こそが日本の再生につながると一念発起、学習塾を開塾。多くの塾生に慕われるも、「公教育を変えねば変わらない」との思いから、政治の道を歩む決意をする。